

連合福島第26回臨時大会開かれる

連合福島の新会長に今泉裕氏

～役員・代議員など230名が出席～

連合福島の第26回臨時大会は6月23日福島市の福島グリーンパレスで開催され、役員・代議員など230名が出席した。冒頭影山道幸連合福島会長は「私自身、明日開催される東北労働金庫の通常総会で常勤の副理事長に就任する予定になっており、そのことから私の後任の会長選出を、この臨時大会でして頂き、全体のご承認を頂きたい。」さらに、「連合運動の停滞は許されないとの視点に立って、連合福島が抱えている諸課題克服に向けて、構成組織並びに地域地区連合が連携を強めながら、対処されることを心から願っていた。」と挨拶した。



主催者を代表して挨拶する影山道幸連合福島会長

大会来賓としては、連合本部から川島千裕総合政策局長始め佐藤雄平福島県知事や増子輝彦民主党福島県連代表、更には小川右善社民党福島県連代表にお越し頂き、ご祝辞を頂戴した。

議事では第4号議案で役員の新補充選出についての提案があり、新会長の選出に関して、出席代議員の満場一致の承認で、今泉裕会長が誕生した。また、今回退任された影山前会長は顧問に就任し、別な立場で連合運動をサポートして頂くこととなった。



真剣に傾聴する代議員の皆さん

今泉会長は就任の挨拶で「特に気負わないでこれまで通り自然体で取り組んで行きたい。現場を知る、現実を知る、現象を見ながら進めるの『三現主義』に基づいて職務に努めて行きたい。」と決意を述べた。

今泉事務局長が会長に就任したことで、事務局長ポストは空席となったが、諸般の事情で今すぐの補充選出が困難なことから、今年10月に開催予定の定期大会までに、後任の事務局長を選出することが児玉役選委員長から告げられた。

最後に今泉新会長の初仕事となるガンバロー三唱で、連合福島第26回臨時大会は閉会となった。



就任の挨拶をする今泉裕 新連合福島会長